



東京女子医大麻酔科 グランドラウンド

Anesthesia Grand Rounds at TWMU

2022年11月28日(月)

東京時間 **07:00 - 07:50**

配信方法：対面 & ZOOM

ikyoku.ac@twmu.ac.jp 事前登録お願い致します

演者：奈良県立医科大学 麻酔科学教室 教授
川口昌彦先生

Masahiko Kawaguchi
M.D., Ph.D.

Professor, Department of Anesthesiology, Nara
Medical University Hospital, School of Medicine

Neuromonitoring and Remimazolam

- Basic principles for the better outcome -

神経モニタリングと レミマゾラム

～ 患者の予後を見据え未知のくすりを解明する～



本邦で開発され、25年ぶりに臨床に新登場した全身麻酔薬レミマゾラムは、ミダゾラムと類似した構造をもちますが、レミマゾラムはジアゼピン環にエステル結合の側鎖を持ち、主に肝臓の組織エステラーゼによって速かに代謝される超短時間作用型静注製剤です。特に、高齢者での循環動態の安定性と特異的拮抗薬を持つことが注目されますが、運動誘発電位など術中の方針決定に大きな影響をあたえる神経モニタリングへの影響については解明の余地があります。今回は、神経モニタリングの第一任者・川口昌彦先生にレミマゾラムを用いた麻酔の奥義について大いに語って頂きます！

利益相反:レミマゾラム発売元のムンディファーマ株式会社にスポンサーになっていただきました。